

事業概要：東御市古民家レストラン整備事業

申請者	長野県東御市				初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R10年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	356,635千円 (86,450千円)
事業分野	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野（大項目） 強い経済分野
目的・効果	<p>東御市でも、古民家などの空家が増加傾向であり、なかでも適切な管理が行われていないまま放置されている空き家が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている。古民家には改築の上再利用出来るものも多く、文化的価値もあり、商業利用の可能性もあるものの、商業利用での再利用は限定的である。その理由として、古民家の再生後の利用に関するアイデアが関係者から出てくるものの、土地条件の制約から再利用後の収支が見通せないため実現しない場合も多い。このため、本事業では、古民家を移設・改修し、レストランと地域物産の売店として再生し、その運営状況を広く共有することで、移築・再生する古民家のモデルとし、移設を伴う古民家再生の流れを作る。古民家の再生を通じ、歴史と文化を後世に残しつつ共生をしていくことで、災害に強く、住みやすいまちづくりを実現するとともに、観光客にとっても「地域の歴史と文化が感じられる、また来たいまち」となるような、美しいまちづくりを行い、ここにしかない価値を磨き上げ、持続可能なまちを作る。</p>					
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 本事業では、歴史的かつ文化的な古民家（解体保存されていた古材）を移設、レストランと地元食材などの特産品の売店として改修・再利用する。レストランのメニューは季節の地元食材で構成し、郷土料理や発酵食、ワインとのペアリングなども展開する。また、地場産業の売店では、浅間山を代表する山々からの豊かな恵みで育てた野菜や果物はもちろん、ワインやチーズ、鶏肉、牛肉、さらには羊肉の販売を行う。この取り組みを通じ、古民家の移築・再利用のモデルを示す。</p>					
※経費内訳はR8年度事業費	<p>【拠点整備事業】 ・設計・監理 28,950千円 ・用地造成 22,500千円 等 ※効率的・持続可能な事業の実現のため、設計・建設・運営を民間事業者が一体的に担うDBO方式を活用した事業スキームで推進する。</p>					